

令和 7 年度事業報告書

第1章 総 括

令和7年度は第三次経営改革計画の中間年度として、計画に基づき各施策を推進した。

1 経営改革計画の推進

(1) 社会福祉事業

北新宿特別養護老人ホームでは、年間を通じて前年度を上回る稼働率となったが、年度当初に発生した疥癬及び新型コロナウイルスによる集団感染の影響もあり、目標稼働率の97%を達成することができなかった。

高齢者在宅サービスセンターについては、総合事業の通所者が前年度より195人増えて微増となったが、一般通所介護及び認知症対応型通所介護の稼働率が前年度より603人減少したことにより、介護報酬収益としては減収となった。

新宿区立かしわヴィレッジについては、退所世帯に対する支援や対応の難しいケースの増加など、業務内容がこれまで以上に高度化、複雑化する中で、関係機関との連携を強め課題解決に取り組んだ。

(2) 公益事業

高齢者総合相談センターについては、法人内連携を進めるとともに、地域交流館等での出張相談や地域団体との意見交換などを積極的に実施し、地域共生社会の実現に向けた取り組みを行った。

地域交流館については、バラエティに富んだイベントの実施や新規団体の立上げ、団体活動の支援に重点を置いて運営した。

(3) 法人全体の経営状況

居宅介護料収益が対前年度比8,976千円の減及び人件費が前年度比38,436千円の増となったことが大きく影響し、令和7年度の法人全体の経常増減差額は、対前年度比70,086千円減のマイナス117,560千円となった。

2 職員の処遇改善等

職員の雇用安定化を図るため、昇格昇給額の引き上げや役職手当の増額等人事制度の見直しの検討を進めた。

令和9年度を初年度とする「第四次経営改革計画」の策定に向け、委員会を立ち上げ、検討テーマ別に部会ごとの議論を進めた。

3 施設改修等

新宿区による施設改修工事が実施され、安全で快適な施設環境を整備することができた。
主な工事内容

- ① 北新宿特別養護老人ホーム：機械浴槽の更新
- ② 若葉高齢者在宅サービスセンター：GHP 暖房室外機の更新
- ③ 中落合高齢者在宅サービスセンター：機械浴槽の更新

- ④ 百人町高齢者在宅サービスセンター：機械室・電気室の送排風機更新、特殊浴槽の更新
- ⑤ 細工町高齢者在宅サービスセンター：機械浴槽の更新

第2章 本部事業報告

1 評議員会及び理事会

評議員会については2回開催し、決算等の審議を行い、決議事項はすべて原案どおり承認された。

理事会については7回（うち書面同意による決議の省略3回）開催し、事業計画・収支予算等の審議を行い、決議事項はすべて原案どおり承認された。

評議員選任・解任委員会は2回開催した。

（評議員会及び理事会等の開催状況は、5頁～9頁を参照）

2 監事による監査

令和7年5月13日に山崎監事及び組澤監事による監査を受け、令和6年度の事業報告及び決算については、適正に業務が執行されている旨の報告をいただいた。

3 経営改革の推進

(1) 第三次経営改革の取り組み

令和7年度は第三次経営改革計画の中間年として、計画の進捗状況を管理し、毎月開催の施設長会において各事業所の取り組み状況の情報共有を図った。

また、令和9年度を初年度とする「第四次経営改革計画」の策定に向け、委員会を立ち上げ、年度内に2回（1月、3月）開催するとともに、検討テーマ別に3つの部会を設けて議論を進めた。

(2) 職員の処遇改善

人材確保のための初任給額の引上げや12月賞与支給月数の増など、職員の処遇改善に努めるとともに、職員の雇用安定化を図るため、昇格昇給額の引き上げや役職手当の増額など、次年度に向けて人事制度の見直しの検討を進めた。

4 健全な法人運営を目指して

(1) 法令遵守、内部統制の強化

内部統制の取り組みとして法令遵守について職員の意識を高めるとともに、法令違反等に対する公益通報保護の適正な仕組みを定めた、「内部通報に関する規程」を整備した。さらに情報セキュリティ研修、ハラスメント防止研修、人権の基本研修、メンタルヘルス研修など、法令遵守・内部統制の強化に資する研修を実施した。

法令遵守体制強化のため、公認会計士、社会保険労務士及び弁護士への顧問契約を継続し、専門家によるチェック及び法人内での相談体制を整備した。

(2) 情報の公開・発信

北新宿特別養護老人ホーム、高齢者在宅サービスセンターなどの事業所が発行する各種のたよりや PR チラシにより事業団の事業紹介を行った。

さらに、採用活動を強化する狙いのもと、ホームページをリニューアルし、専用の採用ページの設置や事業所の様子等を「お知らせ」欄に集約した。

(3) 人材の確保・定着、育成

職員採用を積極的に進めるため、給与規程の一部を改正し、新規採用者の初任基本給の見直し並びに前歴換算割合を変更した。また、在職している職員については、一般職及び総合職 2 級の初任給額の引き上げを行い、処遇改善に努めた。

さらに、介護保険事業所における介護人材確保・職場環境改善等補助金の交付申請を行い、職員の確保・定着につながるよう、取組みを進めた。

令和 7 年度は、新任研修（事業団の概要等）や救命・救急研修に加え、管理職研修において「雇用管理と多様性対応」をテーマに社会保険労務士を講師に迎えるなど、内容に工夫を凝らし職員の育成に努めた。

(4) 福祉サービス第三者評価の受審

今年度は、かしわヴィレッジにおいて福祉サービス第三者評価を受審した。評価結果については、「必要に応じて子育て支援が柔軟に行われている」や「母親の気持ちを尊重した対応がされている」など、おおむね高評価をいただくことができた。

(5) 苦情解決の取組み

前年度に利用者や利用者家族からあった苦情、意見等をまとめ、令和 7 年 7 月 18 日開催の報告会で苦情解決制度第三者委員に概要を報告した。委員からはハラスメントやコンプライアンスについての理解を一層深めるとともに、今後は寛容な対応がより一層必要であるとの助言をいただいた。

5 経営会議及び施設長会の開催

経営会議	年 13 回	施設長会	年 12 回
------	--------	------	--------

6 職員の採用及び退職状況

(1) 採用

正規職員 37 名

(2) 退職

正規職員 17 名（定年退職 1 名）

(3) 職員配置

令和 7 年 4 月 1 日現在の職員配置は 10 頁の表のとおり

評議員会の開催状況

開催年月日等		議案・報告事項等
定時評議員会	◎開催日時 令和7年6月26日 午後1時59分 ～午後3時 ◎会 場 北新宿特別養護老人ホーム 地下会議室 ◎出欠状況 出席評議員 6名 欠席評議員 3名 出席監事 2名	◎議長 佐藤評議員 ◎議事録署名人 貫名評議員 森評議員 ◎議案 第1号 令和6年度決算について 第2号 理事の選任について 第3号 監事の選任について ◎報告事項 (1) 評議員の選任について (2) 令和6年度事業報告について (3) 社会福祉法人新宿区社会福祉事業団内部 通報に関する規程の制定について (4) 社会福祉法人新宿区社会福祉事業団内部 通報に関する規程施行規則の制定について (5) 社会福祉法人新宿区社会福祉事業団給与 規程の一部改正について
第二回評議員会	◎開催日時 令和8年3月30日 午後2時00分 ～午後2時55分 ◎会 場 北新宿特別養護老人ホーム 地下会議室 ◎出欠状況 出席評議員 8名 欠席評議員 1名	◎議長 関原評議員 ◎議事録署名人 浅井評議員 保坂評議員 ◎議案 第2号 社会福祉法人新宿区社会福祉事業団評 議員・役員の報酬等に関する規程の一部 改正について ◎報告事項 (1) 令和7年度補正予算（第1回）について (2) 備品等購入積立金の取崩しについて (3) 令和8年度事業計画について (4) 令和8年度収支予算について (5) 役員等賠償責任保険契約について (6) 令和8年度各種業務委託契約の締結につい て

理事会の開催状況

開催年月日等		議案・報告事項等
第一回理事会	※書面同意による ◎理事会の決議があったものとみなされた日 令和 7 年 4 月 1 日	◎議案 第 1 号 業務執行理事の選定について
第二回理事会	◎開催日時 令和 7 年 5 月 26 日 午後 1 時 50 分 ～午後 2 時 57 分 ◎会 場 北新宿特別養護老人ホーム 地下会議室 ◎出欠状況 出席理事 6 名 欠席理事 0 名 出席監事 2 名 欠席監事 0 名	◎議長 小池理事長 ◎議事録署名人 山崎監事 組澤監事 小池理事長 ◎議案 第 2 号 令和 6 年度事業報告について 第 3 号 令和 6 年度決算について 第 4 号 社会福祉法人新宿区社会福祉事業団内部通報に関する規程の制定について 第 5 号 社会福祉法人新宿区社会福祉事業団内部通報に関する規程施行規則の制定について 第 6 号 社会福祉法人新宿区社会福祉事業団給与規程の一部改正について 第 7 号 社会福祉法人新宿区社会福祉事業団就業規則の一部改正について 第 8 号 評議員候補者の推薦について 第 9 号 役員の候補者について 第 10 号 評議員選任・解任委員の選任について 第 11 号 定時評議員会の開催について ◎報告事項 (1) 理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告について
第三回理事会	※書面同意による ◎理事会の決議があったものとみなされた日 令和 7 年 6 月 26 日	◎議案 第 12 号 理事長の選定について 第 13 号 業務執行理事の選定について

開催年月日等		議案・報告事項等
第四回理事会	開催日時 令和7年11月21日 午後1時54分 ～午後2時18分 ◎会 場 北新宿特別養護老人ホーム 地下会議室 ◎出欠状況 出席理事 6名 欠席理事 0名 出席監事 1名 欠席監事 1名	◎議長 小池理事長 ◎議事録署名人 山崎監事 小池理事長 ◎報告事項 (1) 理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告について (2) システムの整備について (3) 令和7年度職員の賞与等の支給について (4) 令和7年度上半期の収支状況（第三次経営改革計画の進捗状況）について
第五回理事会	※書面同意による ◎理事会の決議があったものとみなされた日 令和7年12月10日	◎議案 第14号 評議員候補者の推薦について
第六回理事会	◎開催日時 令和8年2月16日 午後1時50分 ～午後2時10分 ◎会 場 北新宿特別養護老人ホーム 地下会議室 ◎出欠状況 出席理事 6名 欠席理事 0名 出席監事 2名 欠席監事 0名	◎議長 小池理事長 ◎議事録署名人 山崎監事 組澤監事 小池理事長 ◎議案 第15号 社会福祉法人新宿区社会福祉事業団事務分掌規程の一部改正について 第16号 社会福祉法人新宿区社会福祉事業団評議員・役員の報酬等に関する規程の一部改正について 第17号 評議員会の開催について ◎報告事項 (1) 第四次経営改革計画の策定について (2) 12月賞与等の支給について

開催年月日等		議案・報告事項等
第七回理事会	◎開催日時 令和 8 年 3 月 16 日 午後 2 時 00 分 ～午後 3 時 10 分 ◎会 場 北新宿特別養護老人ホーム 地下会議室 ◎出欠状況 出席理事 6 名 欠席理事 0 名 出席監事 2 名 欠席監事 0 名	◎議長 小池理事長 ◎議事録署名人 山崎監事 組澤監事 小池理事長 ◎議案 第 18 号 令和 7 年度補正予算（第 1 回）について 第 19 号 備品等購入積立金の取崩しについて 第 20 号 令和 8 年度事業計画について 第 21 号 令和 8 年度収支予算について 第 22 号 役員等賠償責任保険契約について 第 23 号 令和 6 年度補正予算（第 1 回）について ◎報告事項 (1) 令和 8 年度各種業務委託等契約の締結について

評議員選任・解任委員会の開催状況

開催年月日等		議案・報告事項等
第一回評議員選任・解任委員会	◎開催日時 令和7年6月13日 午後1時30分～1時45分 ◎会 場 北新宿特別養護老人ホーム 地下会議室 ◎出欠状況 出席委員 3名	◎議長 豊嶋委員 ◎議事録署名人 山崎委員 宮嶋委員 ◎議案 第1号 評議員の選任について
第二回評議員選任・解任委員会	◎開催日時 令和7年12月17日 午後11時00分 ～11時08分 ◎会 場 北新宿特別養護老人ホーム 地下会議室 ◎出欠状況 出席委員 3名	◎議長 豊嶋委員 ◎議事録署名人 山崎委員 宮嶋委員 ◎議案 第2号 評議員の選任について

新宿区社会福祉事業団職員配置表(令和7年4月1日現在)

	理事長	事務局長	施設・館長・等所	事務	相談員	介護員	看護師	機能訓練指導員	管理栄養士	介護支援専門員	社会福祉士	保健師	主任介護支援専門員	運営スタッフ	計
事務局	(1)	1		6											(1) 7
北新宿特別養護老人ホーム			1	1	1	21	3	1	1	1					30
北新宿高齢者在宅サービスセンター			1		1	5	1								8
若葉高齢者在宅サービスセンター			1		1	(1) 4	1								(1) 7
中落合高齢者在宅サービスセンター			2			4		1						(1)	(1) 7
百人町高齢者在宅サービスセンター			1		1	(1) 3	1								(1) 6
細工町高齢者在宅サービスセンター			1		1	3									5
小計			6		4	(2) 19	3	1						(1)	(3) 33
百人町高齢者在宅サービスセンター(居宅)										3			1		4
小計										3			1		4
柏木高齢者総合相談センター			1				1				3	2	1		8
角筈高齢者総合相談センター			1								2	2	1		6
四谷高齢者総合相談センター			1								4	5	1		11
小計			3				1				9	9	3		25
かしわヴィレッジ			1		5										6
高田馬場地域交流館			1											1	2
下落合地域交流館			(1)											1	(1) 1
小計			(1) 1											2	(1) 3
合計	(1)	1	(1) 12	7	10	(2) 40	7	2	1	4	9	9	4	(1) 2	(5) 108

()は再雇用職員・非常勤職員で外数

第3章 北新宿特別養護老人ホーム事業報告

特別養護老人ホームでは、利用者の能力に応じた日常生活支援と、意思・人格を尊重した介護の提供に取り組んだ。また、短期入所（ショートステイ）においては、利用者の心身機能の維持および家族の負担軽減を重視したサービス提供を進めた。さらに、第三次経営改革計画で掲げる目標に向け、前年度の取組状況を踏まえつつ、今年度の課題解決に向けた対応を進めた。

1 令和7年度の取組みの結果・評価及び課題

(1) 申込者増加策

老朽化した施設のイメージアップを図るため、廊下の壁面を白色から淡い緑色へ塗り替えた。館内が落ち着きのある雰囲気となり、利用者が安心して過ごせる環境づくりが進んだ。

(2) 稼働率の向上

① 特別養護老人ホーム

年間を通して入所待機者を確保できなかった。年間目標稼働率 97%に対して、平均稼働率は 93.9%に留まったが、前年度実績を 1.7%上回った。（前年度 92.2%）

② 短期入所（ショートステイ）

特養の空床利用を行い 100%を超える稼働率が 3 ヶ月あった。年間目標稼働率 97%に対して、年間平均稼働率は 92.8%に留まり、前年度実績を 2.5%下回った。（前年度 95.3%）

③ 共 通

特養、短期の合計年間平均稼働率は 93.9%で前年度実績を 1.5%上回った。（前年度 92.4%）疥癬（4 月・5 月）や新型コロナウイルス（7 月・8 月）の集団感染に伴う入所中止期間を設けたことで、その間の稼働率が低下した。

(3) その他

① ICT活用（記録・見守りシステム）による業務支援

令和8年度導入に向け業者選定を行った。（12 月）

② 感染症の予防

感染症委員会（7 回）、研修（2 回）、訓練（2 回）実施し、感染予防に努めた。

③ 設備の更新等への対応

座位型機械浴槽（2 階・3 階）の更新（11 月・12 月）と屋内廊下壁面の改修（9 月～10 月）を、日常生活への影響なく実施でき、入所者やご家族からの評判も良好であった。

2 事業実績報告

【年間稼働率】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
特養	93.4%	91.4%	91.8%	95.8%	95.3%	95.3%
短期入所	66.7%	61.3%	92.5%	96.0%	84.7%	122.5%

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間
94.6	90.8%	94.0%	94.3%	94.5%	95.6%	93.9%
89.5	112.5%	96.0%	104.8%	94.6%	93.5%	92.8%

(1) 特養入所者の状況等（令和 8 年 3 月 31 日現在）

① 年間利用者数 特養＜定員＞86 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
営業日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
在籍数	84	81	85	83	83	84	84	82	83	84	85	85	
新規入所	2	0	4	1	2	2	1	1	4	2	1	1	21
退所者 (*)	1	2	0	3	2	1	2	2	3	1	1	0	18
空床	2	5	1	3	3	2	2	4	3	2	1	1	1
利用数	2,409	2,438	2,369	2,554	2,541	2,459	2,523	2,342	2,507	2,515	2,275	2,550	29,482
平均 (人)/日	80.3	78.6	79.0	82.4	82.0	82.0	81.4	78.1	80.9	81.1	81.3	82.3	80.8

*施設内看取り：10 名 長期入院（転院）：3 名 死亡（病院）：5 名

② 入所者年齢構成

	60～64 歳	65～69 歳	70～79 歳	80～89 歳	90～99 歳	100 歳 ～	合計
男	0	1	5	5	5	0	16
女	0	1	5	32	28	3	69
合計	0	2	10	37	33	3	85

平均年齢 （男性）83 歳 0 か月 （女性）88 歳 0 か月 （男女）87 歳 1 か月

③ 入所者の要介護度構成（人）

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	要介護度平均
男	0	1	2	6	7	16	4.18
女	0	0	8	33	28	69	4.28
合計	0	1	10	39	35	85	4.27

④ 入院の状況（入院者数及び期間等）（人）

入院期間	1～30 日	31～60 日	61 日以上
入院者延人数	39	5	1
3 月 31 日現在入院者数	(3)	0	0
入院者延人数合計	45		

(2) 短期入所者の状況等（令和 8 年 3 月 31 日現在）

年間利用者数 短期入所 <定員>4 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間計
営業日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
【要介護】利用者	80	76	111	119	105	147	111	135	119	130	106	116	1,355
【予防】利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計利用者数	80	76	111	119	105	147	111	135	119	130	106	116	1,355
平均(人)/日	2.7	2.5	3.7	3.8	3.4	4.9	3.6	4.5	3.8	4.2	3.8	3.7	3.7

第4章 高齢者在宅サービスセンター事業報告

高齢者在宅サービスセンターでは、第三次経営改革計画で目標に集客力向上を掲げたが、前年度からの退職者の人員補充に時間を要し、安定したサービス提供体制が遅れ、集客力向上に繋がられなかった。なお、次年度に向けては、地域との連携強化や、利用者ニーズを的確に捉えサービス内容の見直しや入浴サービス枠の拡大等に取り組む、次年度以降の集客力向上への土台作りを進めた。

1 令和7年度の取組みの結果・評価及び課題

(1) 北新宿高齢者在宅サービスセンター

安心して通える身近な施設づくりを進め、民生委員を招いた防災訓練の実施、関係機関や家族へ広報紙を12回配布、家族会や運営推進会議の開催、新宿区役所で行われた福祉展への参加等、事業の周知に務めた。

地域との連携においては、柏木高齢者総合相談センターや社会福祉協議会、ハローワーク等と連携を図り、地域の活動ボランティアや認知症サポーター養成講座終了者の受入れ、施設見学説明会等を行った。

収益の確保では、施設の一日の流れを視覚化した案内紙を新たに作成、関係事業所への営業、送迎経路を適宜見直し、入浴サービスの枠を増やすなど利用者獲得に努め、前年度と比べ延べ453名の増とすることができた。

(2) 若葉高齢者在宅サービスセンター

ニーズに応える体制づくりを重点に置き、職員一人一人が利用者ニーズを的確に応えられるよう情報共有の強化等、日々の申し送りやケース検討の質を高めることで、サービスの均一化と迅速な対応力向上へと繋がった。その結果として顧客満足度を高められた。

生産性向上を目的に、シフト体制の見直しや業務環境の整理整頓を進め動線の改善を実施。その取組みにより業務効率が向上、無駄な作業時間の削減へと繋がった。この削減出来た時間を直接サービスに割当て利用者からの信頼強化に結びつけた。

今後の課題は、利用者ニーズが多様化する中で、全職員が一定以上の対応力を持てるよう、研修体系の見直しやOJTの強化を通じて育成する必要がある。

(3) 中落合高齢者在宅サービスセンター

プログラムの再構築を掲げ、機能訓練指導員を主体に、個別と集団による身体機能の維持・向上をプログラムの見直しを進めたが、機能訓練指導員の退職により集団でのプログラム主体に方針転換。レクリエーション要素を取入れた楽しみながら体を動かせるプログラムの構築へと繋が

った。

ライフワークバランスを重視。生産性向上の観点からムリ・ムダ・ムラを洗い出し業務の効率化へと繋げれたが、有給休暇取得状況等により日々の職員配置数に差が生じ、それが一部の職員への業務負荷や、やむを得ず残業せざるを得ない状況に繋がり悪循環へと至った。今後の課題として、計画的な有休休暇取得への職員一人一人の意識改善、日々の配置職員定数を管理し、偏った業務負荷を解消させる。

(4) 新宿区立百人町高齢者在宅サービスセンター

居宅支援事業所や家族と情報共有を丁寧に行う事で、信頼関係を築き、新規利用者の獲得や安心して通所出来るセンター作りに取組んだが、結果として稼働率の上昇は達成までには至らなかった。

センターは地域に住む方々にとって活躍出来る場所、開かれた場所となるよう取組み、個人での活動ボランティアを新たに 4 名受入れ、計 7 名のボランティア協力員がセンターでの活動を日々行っている。楽器の演奏や、日本舞踊、紙芝居等団体での活動も受入れ、利用者も地域の方々との交流機会を得られ、地域との交流促進ができた。

介護を担う職員として一人一人高い意識で業務に当たれるよう、研修等による育成計画を立てたが、人員補充に時間を要し実施へと至らなかったのも、今後の課題として、人員が充足次第直ぐに育成計画の再立案、研修や OJT を実行する。

(5) 細工町高齢者在宅サービスセンター

新規利用者獲得のため、問合せから開始まで迅速な対応と、入浴枠の拡大をポイントとして重点的に取り組んできた。今年度は機械浴槽の入れ替えや、浴室の環境整備見直しを進めた。また新たな取組みで季節湯を実施。その結果前年度と比べ入浴サービスにおいて 407 名の増とすることができた。

個別機能訓練にも注力してきたが、対象者の長期欠席、施設入所等による取下げが増加したことで実施数は減少し、広報活動の機能が儘ならないこともあり、居宅事業所及びご家族への認知度を高めることが出来なかったのも、課題として次年度は積極的に広報活動を行う。

2 事業実績

(1) 一般通所介護事業実績 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

① 登録者数及び平均年齢

ア 北新宿高齢者在宅サービスセンター

性別	登録者数	平均年齢
男	21人	85歳3ヵ月
女	45人	89歳3ヵ月
計	66人	87歳11ヵ月

イ 若葉高齢者在宅サービスセンター

性別	登録者数	平均年齢
男	26人	86歳3ヵ月
女	66人	89歳2ヵ月
計	92人	88歳4ヵ月

ウ 中落合高齢者在宅サービスセンター

性別	登録者数	平均年齢
男	24人	84歳11ヵ月
女	50人	88歳9ヵ月
計	74人	87歳6ヵ月

エ 百人町高齢者在宅サービスセンター

性別	登録者数	平均年齢
男	19人	83歳6ヵ月
女	57人	87歳5ヵ月
計	76人	86歳6ヵ月

オ 細工町高齢者在宅サービスセンター

性別	登録者数	平均年齢
男	15人	82歳8か月
女	35人	89歳2か月
計	50人	87歳2か月

② 要介護度別一覧表（人）

要介護度	北新宿		若 葉		中落合		百人町		細工町		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
要介護1	7	9	5	20	5	18	9	19	5	10	31	76
要介護2	6	12	7	20	5	12	4	17	4	9	26	70
要介護3	4	13	8	15	6	10	1	7	1	8	20	53
要介護4	2	7	5	8	5	8	2	10	2	4	16	37
要介護5	0	2	1	3	3	2	3	4	3	4	10	15
合計	19	43	26	66	24	50	19	57	15	35	103	251

③ 利用者延べ人数

区 分	北新宿	若 葉	中落合	百人町	細工町	合計
延利用人数	6,267	8,855	5,820	7,113	4,436	32,491
一日利用平均	20.3	28.8	18.9	23.1	14.4	105.5

（実施日数 308 日 ）

④ サービス別利用者延べ人数

サービス別	北新宿	若 葉	中落合	百人町	細工町	合計
入浴サービス	4,775	4,819	4,174	4,203	3,166	21,137
食事サービス	6,267	8,855	5,766	7,041	4,359	32,288

⑤ 月別利用者延べ人数（人）

施設\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
北新宿	570	593	514	570	535	524	533	484	479	438	495	532	6,267
若葉	811	822	727	776	697	764	767	714	712	583	690	792	8,855
中落合	462	481	432	481	484	495	553	474	505	495	451	507	5,820
百人町	570	579	559	593	609	668	669	603	596	554	522	591	7,113
細工町	433	446	428	431	397	361	380	318	312	299	290	341	4,436
合計	2,846	2,921	2,660	2,851	2,722	2,812	2,902	2,593	2,604	2,369	2,448	2,763	32,491

(2) 総合事業（令和8年3月31日現在）

① 登録者数及び平均年齢

ア 北新宿高齢者在宅サービスセンター

性別	登録者数	平均年齢
男	4人	79歳5か月
女	7人	86歳2カ月
計	11人	84歳1カ月

イ 若葉高齢者在宅サービスセンター

性別	登録者数	平均年齢
男	1人	81歳1ヶ月
女	4人	92歳5か月
計	5人	90歳2か月

ウ 中落合高齢者在宅サービスセンター

性別	登録者数	平均年齢
男	4人	84歳0か月
女	6人	89歳7か月
計	10人	87歳5か月

エ 百人町高齢者在宅サービスセンター

性別	登録者数	平均年齢
男	3人	82歳0月
女	6人	86歳2か月
計	9人	84歳6か月

オ 細工町高齢者在宅サービスセンター

性別	登録者数	平均年齢
男	1人	92歳1か月
女	3人	83歳0か月
計	4人	85歳3か月

② 要介護度別一覧表（人）

要介護度	北新宿		若 葉		中落合		百人町		細工町		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
要支援1	1	0	0	0	1	1	1	4	0	0	3	5
要支援2	2	7	1	4	3	5	2	2	1	3	9	21
事業対象者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
合計	4	7	1	4	4	6	3	6	1	3	13	26

③ 利用者延べ人数

区 分	北新宿	若 葉	中落合	百人町	細工町	合計
延利用人数	752	220	689	492	275	2,428
一日利用平均	2.4	0.7	2.2	1.6	0.9	7.9

（実施日数 308 日 ）

④ サービス別利用者延べ人数

サービス別	北新宿	若 葉	中落合	百人町	細工町	合計
入浴サービス	423	103	499	54	261	1340
食事サービス	752	220	689	485	275	2,421

⑤ 月別利用者延べ人数

施設 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
北新宿	73	71	61	65	62	54	60	59	66	59	55	67	752
若葉	16	15	16	14	14	15	20	17	26	20	18	29	220
中落合	58	60	60	65	62	67	64	49	56	48	52	48	689
百人町	44	48	41	37	33	36	52	45	40	36	39	41	492
細工町	19	14	15	26	23	26	27	24	24	23	25	29	275
合計	210	208	193	207	194	198	223	194	212	186	189	214	2,428

(3) 認知症対応型通所介護事業実績 (令和8年3月31日現在)

① 登録者数及び平均年齢

ア 北新宿高齢者在宅サービスセンター

性別	登録者数	平均年齢
男	3人	81歳6ヵ月
女	9人	84歳4か月
計	12人	83歳7か月

イ 若葉高齢者在宅サービスセンター

性別	登録者数	平均年齢
男	2人	93歳0か月
女	7人	87歳7か月
計	9人	88歳9か月

ウ 百人町高齢者在宅サービスセンター

性別	登録者数	平均年齢
男	2人	88歳5か月
女	11人	84歳8か月
計	13人	85歳3か月

② 要介護度別一覧表（人）

要介護度	北新宿		若 葉		百人町		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
要介護1	0	1	0	0	0	2	0	3
要介護2	0	1	0	1	0	2	0	4
要介護3	3	4	0	1	1	4	4	9
要介護4	0	1	2	2	1	1	3	4
要介護5	0	1	0	3	0	2	0	6
合計	3	8	2	7	2	11	7	26

③ 利用者延べ人数

区 分	北新宿	若 葉	百人町	合計
延利用人数	1,628	1,001	1,660	4,289
一日利用平均	5.3	3.3	5.4	13.9

（実施日数 308 日）

④ サービス別利用者延べ人数

サービス別	北新宿	若 葉	百人町	合計
入浴サービス	844	575	951	2,370
食事サービス	1,628	777	1,660	4,065

⑤ 月別利用者延べ人数

施設 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
北新宿	103	112	121	141	167	155	158	139	135	148	131	118	1,628
若葉	90	108	74	78	61	59	98	100	105	74	71	83	1,001
百人町	142	156	142	152	141	143	158	154	121	110	118	123	1,660
合計	335	376	337	371	369	357	414	393	361	332	320	324	4,289

(4) 介護予防教室（シニアスポーツチャレンジ教室）

① 中落合高齢者在宅サービスセンター

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計
実施日数	9日	9日	9日	9日	36日
登録者数	14人	14人	13人	14人	
利用延べ人数	112人	108人	105人	121人	446人

② 細工町高齢者在宅サービスセンター

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計
実施日数	9日	9日	9日	9日	36日
登録者数	14人	13人	14人	11人	
利用延べ人数	112人	99人	92人	79人	382人

3 その他

(1) 地域・住民が参加したイベントや会議

① 家族懇談会開催

利用者家族を対象に事業報告及び介護サービスに関して要望・相談などを受け付けた。また介護する家族同士の意見交換や交流を図れる機会となった。

- ア 北新宿高齢者在宅サービスセンター 3月開催 参加者7名
- イ 若葉高齢者在宅サービスセンター 3月開催 参加者15名
- ウ 中落合高齢者在宅サービスセンター 3月予定 参加者0名 ※ 参加者希望者なし
- エ 百人町高齢者在宅サービスセンター 3月開催 参加者5名
- オ 細工町高齢者在宅サービスセンター 3月開催 参加者10名

② 運営推進会議

認知症対応型通所介護事業において、利用者及び家族、地域住民や福祉系機関等の代表者に対し、提供しているサービス内容を開示した。事業運営の透明性を高めつつ、意見交換を実施した。

ア 北新宿高齢者在宅サービスセンター

10月開催 参加者2名 不参加者には電話、書面での聴き取り実施。

3月開催 参加者3名 不参加者には電話、書面での聴き取り実施。

※ 百人町高齢者在宅サービスセンターと合同開催

イ 若葉高齢者在宅サービスセンター

11 月開催 参加者 4 名 不参加者には電話、書面での聴き取り実施。

3 月開催 参加者 4 名 不参加者には電話、書面での聴き取り実施。

ウ 百人町高齢者在宅サービスセンター

2 月開催 参加者 1 名 不参加者には電話、書面での聴き取り実施。

3 月開催 参加者 2 名 不参加者には電話、書面での聴き取り実施。

※ 北新宿高齢者在宅サービスセンターと合同開催

第5章 居宅介護支援事業所事業報告

百人町高齢者在宅サービスセンター居宅介護支援事業所では、地域の関係機関と連携を図り、終末期のがん患者や難病等の既往を持つ中度者、独居や家族の支援が困難なケースにおいても、事業所内で情報を共有しながら丁寧に対応した。

また、東京都介護支援専門員研究協議会やケアマネット新宿、新宿ケアカレッジ、病院主催の勉強会等に参加し、各職員がスキルアップに努めた。

その他、BCP運用に向けての感染症や自然災害対策等の研修会にも参加し、知識や対応策等の情報収集を行った。

1 令和7年度の取組みの結果・評価及び課題

高齢者総合相談センターや地域の病院、地域住民からの直接依頼とともに、他事業所からの引継ぎ等を積極的に受け入れたことで、年間50件の新規利用者からの相談があった。

一方、入所や要支援への移行、ご逝去等により40名が利用終了となった。その中には、本人やご家族の意向により「出来るだけ自宅で過ごしたい」という意向もあり、出来る限り希望に沿った支援が行えたと捉えている。

認定調査の受諾は1月に3件程度となり、年間合計では32件となった。

戸塚、柏木地区の高齢者見守り支え合い連絡会、診療所での意見交換会（おおくぼ戸山診療所）、多職種連携ミーティング（東京新宿メディカル）等、地域の集まりにも積極的に参加し、研鑽を積むとともに、地域の中での顔の見える関係づくりに取り組んだ。また、知識をさらに深めるための研修を受講した職員が、居宅会議にて伝達研修を行うことで全職員の知識の習得に努めている。

今後は、新規利用者の獲得を促進するため、他事業所との信頼関係の構築やICT導入による業務の効率化を目指します。

2 事業実績報告（令和8年3月31現在）

	高相センター （事業団）	高相センター （左記以外）	家族	他事業 所から	利用 再開	その他	合計
新規利用者	16件	21件	4件	3件	2件	1件	47件

第6章 新宿区立かしわヴィレッジ事業報告

新宿区立かしわヴィレッジは、児童福祉法の理念に基づき、母と子の権利擁護と生活の拠点として、家族の再生へと向かう「場」と「時」と「人（援助者）」を提供し、人間関係の再構築の基盤である「人間関係は捨てたものではない」ということを体感することで、すべての利用者が、自分らしさを取り戻す過程を支援した。また、運営に当たっては、利用者主体の支援を心がけ、利用者および地域から信頼される施設運営を目指した。

1 令和7年度の実施結果・評価及び課題

令和7年度は、DVや虐待等過酷な状況下に置かれた世帯や母子再統合、養育困難世帯への日常生活支援を積極的に行い、母親の精神的安定が図られるよう子育て支援を行った。生活環境の変化に伴い、不安定な子どもに対しては、子どもの健全な育成を目的に、安心感をもって生活できるよういつでも相談できる体制を整えた。特別な配慮が必要な子どもに対しては、それぞれの特性を考慮し、個別対応を心がけた。また、入所前の環境の中で失われてきたものを、信頼できる大人との関わりから取り戻していく過程を支援し、自己肯定感の回復を目指した。丁寧に利用者へ寄り添う支援を行うことで母親の安定につながり、良好な母子関係が構築され、自立への一助となった。

退所後もスムーズに地域生活が送れるよう移行支援を行うとともに、地域の社会資源へのつなぎ役を担うことで、子育てサービスを受けながら母子が安定して生活できるようサポートを行った。アフターケアでは、年間実人数で母親35名、子ども18名に対して、切れ目ない支援を実施し、母子にとって実家のような役割を担うことができた。

2 事業実績報告

新規入所 6世帯 12名

退 所 3世帯 7名

〔退所先の内訳〕 都営住宅

(1) 入所者に対する支援

① 利用状況（令和8年3月31日現在）

定 員	入居世帯数	入居児童数	入所者合計	母親の平均年齢
10世帯	8世帯	9人	17人	37.9歳

② 入所者の内訳（令和8年3月31日現在）

母 親	乳幼児	小学生	中学生	高校生	大学生等	合 計
8人	7人	1人	1人	0人	0人	17人

③ 母親の年齢別内訳（令和 8 年 3 月 31 日現在）

15～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45 歳～	合 計
0 人	1 人	2 人	0 人	0 人	3 人	2 人	8 人

④ 在籍人数（初日在籍数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
入所世帯数	6	6	6	6	6	7	7	7	7	8	8	8
入所人数	14	14	14	14	14	16	16	16	16	18	17	17

⑤ 月別入退所実績（令和 7 年度）

	入所							退所							総数	
	入所 世帯	入所 人数	母親	乳幼児	小学生	中学生	高校生	退所 世帯	退所 人数	母親	乳幼児	小学生	中学生	高校生	総世 帯数	総 人数
4月	1	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	14
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	14
6月	1	2	1	1	0	0	0	1	2	1	1	0	0	0	6	14
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	14
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	14
9月	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	16
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	16
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	16
12月	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	18
1月	1	2	1	1	0	0	0	1	3	1	2	0	0	0	8	17
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	17
3月	1	2	1	1	0	0	0	1	2	1	0	1	0	0	8	17
合計	6	12	6	5	0	1	0	3	7	3	3	1	0	0	83	187

※総世帯数、総人数は各月末日現在

⑥ 母親に対する支援実績（相談、子育て、生活、就労、退所支援の延べ回数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子育て支援	180	179	158	151	159	146	189	131	115	105	119	113	1745
生活支援	45	78	52	37	72	102	123	51	90	49	72	68	839
健康面に対する支援	5	6	5	6	14	15	20	5	7	13	15	31	142
就労支援・資格取得等に対する支援	4	5	5	5	3	3	11	1	2	15	7	5	66
退所支援	9	40	23	10	8	9	10	17	32	34	25	32	249
危機対応	0	0	0	1	0	1	0	3	1	0	0	9	15
その他支援	30	52	37	27	45	44	57	51	54	41	39	36	513
合計	273	360	280	237	301	320	410	259	301	257	277	294	3569

⑦ 子どもに対する支援実績

（生活支援、補助保育、病児保育、学童保育、学習支援、その他支援の延べ回数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活支援	15	9	2	10	29	26	42	41	26	30	21	25	276
補助保育	54	56	50	51	45	58	49	62	45	37	34	26	567
病児保育	0	1	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	5
学童保育・学習支援	73	61	60	68	51	65	72	73	44	83	71	64	785
その他支援	9	30	32	32	8	25	28	28	25	27	28	37	309
合計(回)	151	157	145	161	133	174	192	204	140	179	154	152	1,942

(2) 退所者に対する支援

平成 7 年 1 月開設以降、退所した世帯は、令和 7 年度末までで 149 世帯となっている。多くの退所世帯から折にふれ来所や電話での相談等があり、退所者にとって実家のような存在として機能している。

令和 7 年度は退所後の地域生活を支えるため以下のような支援を行った。

① 母親に対する支援：年間延べ 981 回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	63	53	42	70	81	73	59	61	53	21	35	35	646
訪問	3	6	2	9	15	9	3	7	1	10	5	5	75
来所	7	19	10	8	22	10	13	13	13	8	7	7	137
郵送・メール	12	17	8	13	9	8	5	4	4	9	10	10	109
その他	7	3	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	14
合計(回)	92	98	62	100	127	102	80	87	71	48	57	57	981

② 年間 実人数 35 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	14	17	14	18	15	21	16	18	19	9	12	12	185
訪問	2	6	2	4	3	5	2	3	1	4	3	3	38
来所	2	8	4	2	8	5	4	6	9	3	4	4	59
郵送・メール	6	8	3	5	4	5	3	3	3	5	3	3	51
その他	3	2	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	9
合計(人)	27	41	23	29	30	38	25	31	33	21	22	22	342
実人数	17	21	14	20	16	23	17	20	22	13	15	16	214

③ 子どもに対する支援：年間延べ 437 回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	15	19	14	22	20	12	16	5	13	18	20	20	194
訪問	1	6	0	4	2	4	0	1	1	1	1	1	22
来所	22	19	10	15	15	13	16	11	13	6	14	14	168
郵送・メール	6	3	0	0	3	2	3	5	1	1	2	2	28
その他	4	9	0	0	3	2	0	1	0	0	3	3	25
合計(回)	48	56	24	41	43	33	35	23	28	26	40	40	437

④ 年間 実人数 18 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	13	8	7	6	6	4	7	1	10	6	6	6	80
訪問	0	3	0	2	2	1	0	1	1	1	1	1	13
来所	14	9	4	6	6	5	8	4	7	8	4	4	79
郵送・メール	1	1	0	0	3	4	3	2	1	1	2	2	20
その他	2	3	0	0	2	1	0	1	0	1	1	1	12
合計(人)	30	24	11	14	19	15	18	9	19	17	14	14	204
実人数	9	12	9	10	11	9	13	6	12	6	8	9	114

(3) かしわ塾

令和 7 年度は、感染症対策を行いながら、年間 183 回実施した。年間延べ参加児童は 291 名、年間延べ参加支援者 356 名、郵送支援延べ 2 回となった。

(4) 緊急連絡体制

緊急時には職員が駆けつけ迅速に対応できるよう体制を整えた。令和 7 年度の緊急時の駆けつけは 1 件、夜間対応は 7 件あり、職員が迅速に対応した。

(5) 実習生・ボランティア・施設見学の受け入れ

【実習生】 32 名

【ボランティア】 5 名

【施設見学】 35 名

(6) 緊急一時保護事業

【利用実績】

年間延べ 277 世帯 410 名

年間入所世帯 18 世帯

年間入所人数 22 名

① 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延世帯	44	33	32	28	28	5	2	36	18	28	21	2	277
延人数	102	68	43	28	28	5	2	36	18	41	37	2	410
延日数	44	33	32	28	28	5	2	36	18	28	21	2	277
実世帯	2	2	5	3	1	1	1	2	1	3	4	1	26
実人数	5	5	6	3	1	1	1	2	1	4	5	1	35

3 その他

外部評価（第三者評価）受審結果

利用者本位の福祉サービスの実現と質の向上を目的とし、第三者評価を実施した。契約期間は令和7年9月17日～令和8年3月31日、訪問調査は1月22日に実施した。利用者調査の総合的な満足度では、「大変満足、満足」が一番多く、「いつも助けてもらえて感謝しています」等のコメントがあった。全体の講評では、理念の実現に向け、職員は母子の想いや悩みに寄り添い、協力者として伴走しながら安心・安全に暮らせる環境を守っている等のよい点と職員の定着につながる職場環境づくりに向けての検討に期待したい等のさらなる改善が望まれる点の助言を受けた。

第7章 高齢者総合相談センター事業報告

令和7年度は、職員の資質向上を目的に虐待や個人情報保護をテーマに合同研修を企画、開催した。また、高齢者総合相談センター（以下「センター」という。）で把握した地域課題（ニーズ）の共有や解決に向けた検討の場を設け、法人内連携を図った。

1 令和7年度の取組みの結果・評価及び課題

（1）柏木高齢者総合相談センター

見守り体制強化のため、地区ごとに民生委員懇談会開催し、地域実情や心配な高齢者について情報を共有した。また、町会、高齢者クラブ、食事グループやサロンに積極的に参加し、認知症への理解を深め、センターの周知を行った。独居高齢者アウトリーチ事業では、直近2年間に当センターと関わりのない85歳以上と生活保護受給者80歳以上の方117名に個別訪問し、40名の実態把握とセンター周知を行った。

地域交流館での出張相談では、熱中症、ヒートショック、防災、終活、フレイル、介護保険制度をテーマにミニ講座を開催し、その後の相談をしやすくする工夫を行った。認知症サポーター養成講座を地域住民、地域の企業職員向けに開催し地域の中で認知症を見守る支援体制を図った。

圏域型地域ケア会議では、地域で増加している「不衛生環境にある人の支援」をテーマに時間は要するが、信頼関係を構築した上で地域と関係機関が一体となって取り組むことが大切であると共通の認識を持つことができた。

（2）角筈高齢者総合相談センター

前年度の地域ケア会議で町会ごとの課題が明らかになったことから、再開発が進む淀橋地区では高齢者の地域課題を検討する高齢者コミュニティ会議を立ち上げ、新たな取り組みとしてゴミ拾いとカフェ活動「淀橋のひろいわ」の定期的な開催や認知症・フレイル予防の講座を開催するなど新宿100トレの自主グループ化に向けた支援を行った。

マンションが多い地域特性から、高齢者の異変を早期に気づき、支援につなげるため定期的にマンション管理員へ聞き取り調査を実施して関係づくりを行っている。

今回で3年目の開催となる「健康フェスタ2025」では、講座や各種測定などを通じて高齢者自身が健康づくりに取り組めるよう工夫して企画した。15企業・団体から47名の協力もあり安全な運営ができた。これまででいちばん来場者、スタッフの満足度が高かった。

今年度の地域ケア会議では、地域からの孤立や支援を拒む高齢者に対して、人と人が緩やかにつながる関係づくりやネットワークの強化、周知の課題が抽出され、関係機関と共有することができた。

(3) 四谷高齢者総合相談センター

地域交流館・シニア活動館での出張相談や講座、四谷ひろばフェス等を通じた普及啓発を実施し、延べ多くの住民に対して高齢者総合相談センターの周知と相談機会の拡充を図った。また高齢者見守り支え合い連絡会や民生委員との懇談会、YPP（四谷プライドプロジェクト）での多職種連携により地域の見守り体制強化に取り組んだ。

一方、認知機能の低下に伴う消費者被害件数が増加していることから、定期継続購入や不適切な契約をした高齢者に対して消費生活センターや警察、法テラス等と連携して対応した。

今年度の課題としては、虐待事例について、複雑化・長期化、繰り返し発生するケースが増え、従来のサービス調整のみでは解決困難な課題が顕在化した。

町会との連携や若年層への周知も課題である。今後は、権利擁護支援の強化と関係機関との役割分担の明確化、早期介入の仕組みづくり、幅広い世代への普及啓発を推進する必要がある。

2 事業実績報告

(1) 総合相談支援業務

① 相談方法

施設名	電話	来所	訪問	その他	FAX	合計
柏 木	2,359	771	961	80	97	4,268
角 筈	1,416	436	363	49	31	2,295
四 谷	3,075	1,317	826	61	114	5,393

② 相談経路

施設名	本人	配偶者	子	子の 配偶者	他の親族	民生委員	関係機関	ケアマネ ジャー	見守り登録 事業者	情報紙 配布員	その他	合計
柏 木	1,783	345	589	48	207	97	1,147	719	3	25	239	5,203
角 筈	894	270	444	12	167	22	551	381	12	5	68	2,826
四 谷	2,112	489	867	78	272	39	1,207	1,086	10	27	272	6,459

③相談内容（※重複あり）

施設名	実態把握 訪問	在宅サービス (介護保険)	在宅サービス (総合事業)	在宅サービス (介護保険・ 総合事業外)	経済的事項	家庭的事項	医療保健	住宅関連	介護老人福 祉施設(特 養)	介護老人保 健施設(老 健)	高齢者入所 施設(特 養・老健を 除く)
柏 木	396	1,893	20	527	192	152	610	122	98	30	117
角 筈	126	1,084	7	328	51	94	327	35	40	14	46
四 谷	122	2,669	26	886	145	21	492	112	101	8	74

施設名	介護予防	ケアマネ 支援	権利擁護・ 成年後見	認知症相談	消費生活 相談	虐待相談	孤独死	安否確認	地域事情	その他
柏 木	7	332	83	109	22	62	2	105	1	401
角 筈	7	194	66	221	3	32	1	31	7	138
四 谷	10	288	185	177	34	120	6	99	53	281

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

施設名	ケアマネジャーへの支援			地域ケア会議	
	作成指導・ 情報提供	同行訪問	担当者会議	個別型	圏域型
柏 木	69	79	32	6	1
角 筈	137	23	5	5	1
四 谷	81	41	21	9	1

(3) 介護予防ケアマネジメント

施設名	区分	直	委託	計	施設名	区分	直	委託	計
柏 木	要支援1	1,057	72	2,433	四 谷	要支援1	1,360	96	3,442
	要支援2	1,166	138			要支援2	1,757	166	
	事業対象者	0	0			事業対象者	63	0	
角 筈	要支援1	592	8	1,132					
	要支援2	479	17						
	事業対象者	36	0						

(4) 地域とのネットワーク、センターの周知

施設名	地区民生委員協議会への出席	町会・自治会との連携	地域行事への参加	地域密着型運営推進会議への出席	センターだよりの発行	高齢者見守り支え合い連絡会の開催	出張相談の実施	認知症サポーター養成講座の開催	その他講座の開催
柏 木	10	7	2	7	1	1	8	5	17
角 筈	10	12	7	6	3	1	12	5	5
四 谷	11	17	4	6	1	1	8	5	7

(5) その他の取組

施設名	研修等への参加(人数)	外部会議への出席(回)	実習生受入(延べ日数)
柏 木	57	13	68
角 筈	68	13	30
四 谷	99	17	29

3 その他

(1) 外部評価（接遇調査）の受審結果

① 実施日

柏木高齢者総合相談センター：令和7年12月12日

角筈高齢者総合相談センター：令和7年12月17日

四谷高齢者総合相談センター：令和7年12月22日

② 評価の概要

窓口対応、電話対応ともに、言葉遣いや話すスピード、声のトーンなど落ち着いて相手に安心感と好印象を与える対応が出来ていた。相談者の話をきちんと受け止め、説明もわかりやすく伝えられているとの評価を受けた。

(2) 地域・住民が参加したイベントや会議

① 柏木高齢者総合相談センター：

- ・ 柏木地区民生委員懇談会 4回 20名
- ・ 新宿区社会福祉協議会地域見守り協力員向け講座 1回 16名
- ・ 柏木地域センターまつり「かしわまつり」参加
- ・ 地域住民向け認知症サポーター養成講座 3回 29名
- ・ デイサービスでの傾聴ボランティア 1回 ボランティア3名
- ・ 介護者講座 1回開催 参加者8名

- ・地域交流館での出張相談、ミニ講座 8回 67名
- ・町会、高齢者クラブ、マンション住民、食事グループへ認知症講話 11回 170名
- ・高齢者見守り支え合い連絡会 1回 参加者 22名
- ・日常生活圏域型地域ケア会議 1回 参加者 9名

② 角筈高齢者総合相談センター：

- ・よどマネ高齢者コミュニティ検討分科会 7回開催
- ・淀橋のひろいわ（ごみ拾いと交流イベント） 3回開催
- ・角筈地域センターまつり「わいわい広場」参加
- ・健康フェスタ 2026 開催 来場者 103名
- ・認知症・フレイル予防元気アップ講座 1回開催 参加者 19名
- ・新宿 100 トレ体験会 1回開催 参加者 18名
- ・西新宿小学校4年生への認知症サポーター養成講座 2クラス1回開催 55名
- ・デイサービスでの傾聴ボランティア 5回 ボランティア 5名
- ・介護者講座 1回開催 参加者 19名
- ・高齢者クラブへの出張講座 2回 参加者：1回目 19名、2回目 14名
- ・高齢者見守り支え合い連絡会 1回開催 参加者 21名
- ・日常生活圏域型地域ケア会議 1回 参加者 17名

③ 四谷高齢者総合相談センター：

- ・四谷地区民生児童委員との懇談会 参加者 32名
- ・YPP（四谷プライドプロジェクト～四谷に住みたい～）意見交換会 参加者 6名
- ・高齢者クラブ、住民活動団体への出張講座 7回 延べ 83名
- ・熱中症予防普及啓発講座 計4回 延べ 104名
- ・四谷ひろばフェス参加
- ・デイサービスでの傾聴ボランティア 1回 1名
- ・介護者講座 参加者 19名
- ・地域交流館、シニア活動館での出張相談 計8回 延べ 39名
- ・高齢者見守り支え合い連絡会 参加者 43名
- ・日常生活圏域型地域ケア会議 1回 13名

第8章 地域交流館事業報告

高田馬場地域交流館及び下落合地域交流館では、通いの場としてより多くの利用者の獲得に向けて、新規利用者や男性利用者への効果的なイベント企画等を展開した。地域との関わりについては、学校法人、各関連施設、ボランティア、地元町会等との結びつきを生かし、大小さまざまな取り組みを行っている。防災については、下落合地域交流館において、新宿区と福祉防災の充実事業に取組み、福祉避難所対応に備えることができた。

1 令和7年度の取組みの結果・評価及び課題

【高田馬場地域交流館】

目玉イベントの実施では、当初の目標（24回）を上回る回数（36回）を実施したことで、個人利用登録者数も前年を上回る718名となり、利用者増につなげることができた。また、団体の新規会員については、団体支援イベントを年間10回実施し、79名の増員につなげた。男性利用者については、男性にニーズの高い麻雀のイベント（健康麻雀初級、麻雀開放、麻雀寺子屋）を前年度の倍以上となる年間105回実施するとともに、囲碁イベント（年間51回）や男性向けクラフトづくりイベント（年間3回）を実施したことで、利用者増となった。

区内の他交流館や図書館との連携企画、町会イベントへの協力、早稲田大の学生によるイベント、社会福祉協議会と連携した団体立ち上げ、エコギャラリー新宿とのSDGsイベント開催など、様々な地域との連携による取組みを行った。防災についても避難訓練を毎月実施し、災害時に備えている。

【下落合地域交流館】

今年度は、利用者の要望に沿った新規事業を複数展開し、高齢者の活動拠点としての満足度向上に努めた。課題であった男性利用者については、ボランティアによる講座の立ち上げ（手品講座、スポーツ事業、コンサート）により、男性の参加率を押し上げることができた。多世代交流については、学習院大学や中央大学のサークル及び子育て支援グループ、地域交流スペース「ささええる中落合」の協力を得て定期的に開催した。

また、町会、落合第一出張所、小中学校、PTAなどの関係団体と共に地域防災事業を行うことで、地域との連携を深めた。利用者アンケート調査からも総合評価の満足度は96%と高く、1日平均利用者は館運営1年目が35.0人、2年目は41.4人、本年度が44.7人（個人・団体計）と着実に増加している。

2 事業実績報告

(1) 利用実績（令和8年3月31日現在）

① 団体利用者数

	高田馬場	下落合
開館日数	359日	359日
利用者合計	8,689人	7,369人
1日平均	24.2人	20.5人
利用団体数	1,173	869

② 個人利用者数

	高田馬場	下落合
開館日数	359日	359日
利用者合計	17,618人	8,669人
1日平均	49.1人	24.1人

③ 風呂利用者数

	高田馬場	下落合
利用日数	300日	306日
利用者合計	3,484人	1,809人
1日平均	11.6人	5.9人

(2) 館行事

【高田馬場地域交流館】

①身体運動

事業名	年間実施回数	参加人数
新宿いきいき体操	52 回	1, 284
座タップダンス健康法	48 回	600
シニアバランストレーニング教室	36 回	547
ボイストレーニング教室	9 回	188
気功体験教室 内臓のストレッチ	2 回	49
声に出して楽しむ、絵本朗読の時間！	1 回	31
はじめてのスポーツウエルネス吹矢	1 回	19
気軽に健康ウォーキング	1 回	18
演劇ワークショップ	1 回	16
モルック体験会	1 回	15
鴛羽のボイトレ&朗読教室	1 回	11
スポーツチャンバラ	1 回	9

②文化活動

事業名	年間実施回数	参加人数
麻雀開放	81 回	1,174
囲碁開放	51 回	399
うたの 60 分	12 回	336
折り紙ひろば	24 回	287
健康麻雀初級	12 回	185
カラオケ開放	40 回	155
手工芸（白磁器クラフト含む）	12 回	149
スマートフォン相談会（東京都）	13 回	135
映画観賞会	12 回	101
ひさしぶりのボールペン習字	6 回	99
新宿区有料マッサージサービス	18 回	87
季節の塗り絵（カレンダー）	12 回	65
歌広場みち子	12 回	59
早稲田大学ニューオルリンズジャズライブ	1 回	53
馬場館若手落語会	1 回	50
陶芸教室	6 回	45
カラダは食べ物からできている（明治の食育）	1 回	45
馬場館若手講談会	1 回	44
出張！歌声喫茶ともしび	1 回	40
社会人落語会	1 回	37
トランペットと電子ピアノで奏でる秋の調べ	1 回	36
いざ！イス座禅	1 回	34
立川成幸落語会	1 回	34
スマホ個別相談会	2 回	31
ミュージックセラピー	1 回	27
活動弁士の説明付きで無声映画を楽しもう！	1 回	23
薬草・ハーブの入門	1 回	21
敬老お茶会	1 回	20
リハビリテーション専門職によるせいかつ講座	1 回	18
生活に役立つスマホ講座	1 回	15
UNO 芸人ウノ山本による UNO 体験講座	1 回	14
園児と一緒に！民謡鑑賞会	1 回	13
やわらかハンドケア	1 回	12
川柳のすゝめ	2 回	10

おくすり・栄養との上手な付き合い方講座	1 回	10
スポーツチャンバラ	1 回	9
楽しく学ぶ容器包装の 3R 講座	1 回	9

③趣味の部屋（職員による午前開催のプチ講座）

事業名	年間実施回数	参加人数
ダンス・ダンス・ダンス	24 回	271
麻雀寺子屋	12 回	188
美養時間	11 回	145
カリンバひろば	12 回	119
美しい文字のかきかた練習	12 回	106
脳トレ会	12 回	85
日本文化と花	10 回	81
はじめてのオセロゲーム	12 回	80
館長の部屋	12 回	56
松田さんの世界	10 回	38
復活！スマホの部屋	7 回	29
お花をいけよう	2 回	20
サッカーを知ろう！	3 回	7
はじめての UNO ゲーム	1 回	5
男のクラフト 3D ウッドパズル	3 回	2

④団体支援イベント

事業名	年間実施回数	参加人数
お試し尾竹会（生け花）	1 回	9
お試しもみじ会（輪投げ）	1 回	7
お試し色鉛筆彩りの会（絵画）	1 回	4
お試しいきいき 100 トレ（体操）	1 回	4
お試し翡翠会（太極拳）	1 回	4
お試し高田馬場ひまわり会（吹矢）	1 回	4
お試しさくら会（体操）	1 回	3
お試し亀の子会（民謡）	1 回	2
お試し百人一首の会（かるた）	1 回	2
お試シアトム・ミュージック（ウクレレ）	1 回	1

⑤その他

事業名	年間実施回数	参加人数
福祉大会（戸塚高齢者クラブ連合会）	1 回	131
活動お披露目会	1 回	101
4 施設合同避難訓練	3 回	62
お楽しみ演芸会&ビンゴ大会	1 回	55
災害対応訓練（当館のみ）	9 回	49
輪投げ大会（戸塚高齢者クラブ連合会）	1 回	27
利用者懇談会	1 回	5

⑥新宿区・都事業への協力

- ・シニアバランストレーニング教室
- ・高齢者有料マッサージサービス
- ・しんじゅく 100 トレ
- ・スマートフォン相談会（都）
- ・東京都スポーツ文化事業団の講師派遣受け入れ
- ・まちなか避暑地（6 月～9 月）
- ・秋の地域ごみゼロ運動参加
- ・新宿区 NPO 活動登録団体によるイベント実施
- ・広報新宿に年間 23 本の館イベントの原稿掲載

【下落合地域交流館】

事業名	年間実施回数	参加人数
新宿いきいき体操会	36 回	1017
ヘルスマンテナンス体操	36 回	959
すこやか体感体操	33 回	709
健康フラダンス	22 回	208
太極拳	24 回	112
モルック（室内スポーツ）	12 回	130
映画観賞会	12 回	100
カレンダー作り	14 回	53
陶芸入門教室	2 回	15
スマートフォン相談会	23 回	63
囲碁サロン（中央大学囲碁教室 2 回）	52 回	271
韓国語講座	3 回	18
折紙教室	8 回	44

梅シロップづくり	1 回	16
トランプマジック	5 回	22
手工芸	7 回	64
多世代交流サロン	2 回	108
合同作品展	2 回	140
はたおり倶楽部	6 回	8
音楽カフェ	4 回	82
ジャズコンサート	1 回	32
学習院大学めじろ寄席	1 回	49
自主事業運営委員会イベント	6 回	224
利用者懇談会	1 回	5
高齢者総合相談センター出張相談会	24 回	10
風呂イベント（柚子風呂）	4 回	20
ささえーる中落合園芸ボランティア講座	1 回	22

・新宿区・都事業への協力

- ① 新宿区有料マッサージサービス
- ② スマートフォン相談会（都）
- ③ まちなか避暑地（6月～9月）

(3) 職員研修

【高田馬場地域交流館】

研修名	参加人数	主催
個人情報保護研修	7	政府広報オンライン
介護予防ケアマネジメント研修	4	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
職員向け認知症サポーター養成講座	3	新宿区福祉部高齢者支援課
説明力強化研修	1	新宿区総務部人材育成等担当課
感染症対策研修～寒い時期の感染症～	1	法人本部
管理職研修	1	法人本部
メンタルヘルスセミナー	1	法人本部
入居者・家族とのトラブル対応時間を90%削減する方法	1	弁護士法人おかげさま
法令遵守研修会	1	株式会社ビズアップ総研
ビジネスメールコミュニケーション講座	1	株式会社アイ・コミュニケーション
ビジネス文章力アップ講座	1	株式会社アイ・コミュニケーション

【下落合地域交流館】

研修名	参加人数	主催
認知症サポーター養成講座	1	福祉部高齢者支援課
職場の健康管理	1	法人本部
施設の保全に関する研修会	1	新宿区施設保全推進協議会
雇用管理と多様性対応	1	法人本部
高めよう見守り力	1	落合高齢者第一総合相談センター
会計実務研修	5	法人本部
感染症対策	1	法人本部
普通救急救命講習	2	東京消防庁
クレーム・ハラスメント防止研修	1	法人本部
人権の基本研修	1	法人本部
職場内ハラスメントを未然に防ぐ	1	法人本部
法令順守研修	1	法人本部
産業医による労働安全衛生セミナー	1	法人本部
認知症をもっと知ろう in 新宿	1	エーザイ株式会社

3 その他

【高田馬場地域交流館】

(1)地域・住民が参加したイベントや会議

① 高齢者見守り支え合い連絡会（11月27日）

戸塚高齢者総合相談センター主催の連絡会で、戸塚高齢者総合相談センター、社会福祉協議会の職員をはじめ、介護事業所、民間企業、新宿区シルバー人材センター、成年後見センター、保健センター、民生委員ほか、51名が参加。「終活を知って見守りに活かそう」というテーマのもと、グループワークで情報共有を行った。

② 個別地域ケア会議（8月28日）

多職種共同による個別ケース支援及び地域課題の検討のための会議で、高齢者総合相談センター職員をはじめ、新宿区職員、社会福祉協議会、ケアマネジャー、自治会の方、介護事業所職員ほか、9名出席。

③ 自主活動運営委員会主催「お楽しみ演芸会&ビンゴ大会」（3月15日）

諏訪町会会員を中心とした自主活動運営委員会主催イベント。東京YMCA国際ホテル専門学校、早稲田大学落語研究会にそれぞれ協力していただき、当日55名が参加し、地域性の高いイベントとなった。

④ 難民支援のための多文化交流会「七夕まつり」（7月5日）

外国籍の住民と地域の住民とが日本の伝統文化を共有しながら楽しいひと時を過ごす。

34名の参加があり、盛会となった。

⑤ 昔遊び交流会

併設施設高田馬場第二児童館（3F）で開催、当館の自主活動運営委員会の道具・資材の貸与等で協力している。

⑥ 諏訪町会定期会議

基本、月に1回当館大広間を会議で使用。年間延べ158名利用している。

【下落合地域交流館】

(1) 新宿区による福祉防災の充実事業

① 実施日 5月7日・9月5日・11月21日

② 内容 災害時における要配慮者支援のための福祉避難所運営の手順を新宿区、工学院大学と共に協議した。年間を通じ、ワークショップ、開設訓練を実施し、下落合地域交流館福祉避難所開設キットを完成させた。

(2) 地域・住民が参加したイベントや会議

① 自主事業運営委員会（4町会4高齢者クラブ連合から役員を選出）主催イベント（6回開催）に224人の地域住民が参加した。その中のスマートフォン教室（3月19日）は、町会役員からの要望で実施し、SNSやインターネットなどのスマホの使い方が分かったと好評であった。

② 地域防災訓練（8月31日）

「一次避難所運営管理協議会」委員として、新宿区、落合第一特別出張所、消防署、消防団、町会、PTA、小中学校等と共に訓練に参加した。

第9章 中落合高齢者在宅サービスセンター内 地域交流スペース事業報告

中落合高齢者在宅サービスセンター内地域交流スペース「ささえーる中落合」では、新宿区地域支え合い支援事業として、高齢者の自立支援をはじめ、世代を問わず一人ひとりが役割を持ち、互いに助け合い支え合う地域づくりの推進に取り組んだ。

また、地域におけるつながりの希薄化や高齢者の孤立といった課題を踏まえ、交流機会の創出や社会参加の促進を図るとともに、地域活動の担い手の育成や団体活動の支援を行った。

1 令和7年度の取組みの結果・評価及び課題

今年度は、講座やイベントの充実を図るとともに、参加者同士のつながりを活かし、活動の継続や団体化につながるよう事業を展開した。地域支え合い活動の担い手育成を目的とした養成講座を11講座（次頁①～⑪）実施し、新規団体の設立や既存団体への合流を見据えた取組みを行った結果、3団体が新たに立ち上がり、登録団体数は31団体となり、担い手の創出につながった。

また、専門講師に加え、団体や区民ボランティアの協力による「コミュニティカフェ」や「区民ボランティア活躍講座」を実施し、利用者の特技を活かした多様な講座を展開した。さらに、多世代交流講座を7講座実施し、地域の親子や保育園と団体ボランティアの交流機会を創出した。

11月に開催した「ささえーるフェスタ」では、2日間で194名が来場し、団体の発表機会の提供とともに、当事業の取組みを幅広い世代へ周知する機会となった。

一方で、事業への協力が一部のボランティアに偏る傾向が見られたことから、担い手の確保及び拡充が課題となっている。今後は魅力ある講座企画を通じて、新規利用者の獲得を図るとともに、継続的な活動参加へつなげていく必要がある。

2 事業実績報告

(1) 利用実績

① 団体利用者数

開館日数	308 日
利用者合計	8,691 人
1日平均	28.2 人
利用団体数	782

② 個人利用者数

開館日数	308 日
利用者合計	5,843 人
1日平均	19.0 人

(2) 館主催講座・イベント

令和7年度は下記①～⑲の講座枠にて、合計 52 講座を開催した。

① 実施回数延べ 147 回 /参加者合計 2,162 名

事業名	年間実施回数	参加人数
担い手養成講座【全 11 講座】	94 回	941
① フレイル予防料理講座(介護予防に資する事業)【1 講座】	6 回	42
② お手軽薬膳講座【1 講座】	6 回	51
③ からだ元気体操講座(介護予防に資する事業)【1 講座】	8 回	148
④ 染の小道担い手養成講座【1 講座】	6 回	52
⑤ 季節のガーデニング講座【1 講座】	6 回	63
⑥ ハーブ講座【1 講座】	6 回	70
⑦ 星と天文講座【1 講座】	6 回	58
⑧ 生け花講座【1 講座】	6 回	74
⑨ 傾聴ライター講座【1 講座】	7 回	63
⑩ 囲碁による多世代交流支援講座【1 講座】	20 回	138
⑪ シニアの絵本読み聞かせ講座【1 講座】	17 回	182
その他講座【全 41 講座】	53 回	1221
⑫ 中落合歌声ひろば【6 講座】	6 回	174
⑬ コミュニティカフェ【7 講座】	7 回	217
⑭ 多世代交流講座【7 講座】	10 回	336
⑮ 防災講座【3 講座】	3 回	42
⑯ スマートフォン講座【5 講座】	5 回	38
⑰ 私が企画する講座(ささえーるフェスタ含む)【4 講座】	9 回	260
⑱ 区民ボランティア活躍講座【4 講座】	8 回	83
⑲ 学校企業等による社会貢献活動講座【5 講座】	5 回	71

② 新宿区・都事業への協力

- ア 新宿区有料マッサージサービス 実施回数 18 回 /参加者数 : 59 名
 イ スマートフォン講座(都) 実施回数 1 回 /参加者数 : 4 名
 ウ まちなか避暑地(6月～9月) 実施日数 104 日 /参加者数 : 2,171 名

(3) 団体活動支援

- ① 染色をテーマにした団体は、落合・中井地域のイベント「染の小道」において、2月20日から22日までの期間、ささえーる中落合を会場とした展示を運営した。今年は企画「染のがっこう分校」として設定され、地域住民や区外からの来場者は3日間で計410名に上り、地域との交流促進に寄与した。
- ② 「シニアの絵本読み聞かせ講座」修了生による2団体は、落合地区の保育園、こども家庭支援センター、高齢者施設等において、週1回活動を継続している。
- ③ 園芸ボランティア団体は、中落合高齢者在宅サービスセンターにおいて季節ごとの花壇植え替えを実施するとともに、下落合地域交流館では玄関周辺花壇の整備を行い、施設環境の美化に努めた。
- ④ サロン団体は、居場所づくりを目的として毎月固定の曜日に月1回活動を実施し、楽器の演奏等を通じて地域住民の交流の場として定着している。

3 その他

(1) 関係各団体及び町会などへの働きかけ

新宿区社会福祉協議会との連携を強化し、高齢者施設や保育園等の受け入れ先の紹介を受けることで、団体の活動場所及び活動機会の拡大につなげた。また、落合・中井地域の町会への働きかけを積極的に行い、10月実施のハロウィンイベントの共催、町会掲示板への月2回の講座チラシの掲示は、事業を地域住民に知っていただくことにつながった。

(2) 活動支援担当者連絡会（月1回）への参加

新宿区・薬王寺地域ささえあい館・シニア活動館4館・新宿区社会福祉協議会の活動支援担当職員と運営に関する報告と情報共有を毎月行うことで、新宿区全体における利用者の状況や課題を把握し、団体支援に役立てることができた。

(3) 利用者懇談会の開催（3月開催）参加者数：28名（うち関係機関職員6名）

関係機関として、新宿区、高齢者総合相談センター、社会福祉協議会の職員6名が出席し、令和7年度の事業報告及び事業利用に関する意見交換を実施した。本懇談会を通じて、利用者に事業の取組みを改めて知っていただく機会となるとともに、利用者ニーズの把握につながり、今後の団体支援や講座、イベント企画の検討に資するものとなった。

事業報告の附属明細書

令和7年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人新宿区社会福祉事業団